

第7次江別市総合計画策定方針（案）に対する意見公募
（パブリックコメント）の結果と市の考え方について

（意見公募期間：令和3年7月30日から令和3年8月31日まで）

令和3年9月

江別市企画政策部政策推進課

意見公募（パブリックコメント）の結果概要

1 意見公募の結果

(1) 意見公募期間

令和3年7月30日（金）から令和3年8月31日（火）まで

(2) 資料の公表場所（計13か所）

企画政策部政策推進課（市役所本庁舎2階）、情報公開コーナー（市役所本庁舎1階）、大麻出張所、水道庁舎証明交付窓口、情報図書館、市民会館、各公民館、市民交流施設「ぷらっと」、豊幌地区センター、野幌鉄南地区センター、総合社会福祉センター

(3) 提出いただいた意見

- ・提出件数： 3人
- ・意見数： 17件

2 第7次江別市総合計画策定方針（案）に対する意見の概要と市の考え方

(1) 考え方の区分

取扱区分	意見の反映状況
A	意見を受け入れて案を修正するもの
B	案は修正しないが、今後の進め方等において参考とするもの
C	案と意見の趣旨が同様と考えられるもの
D	これまでも取り組んできているもの
E	案に取り入れなかったもの

(2) 寄せられた意見と市の考え方

- ・資料1ページから4ページのとおり。

【第7次江別市総合計画策定方針(案)に関するご意見】

No.	方針(案)のページ	項目	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
1	—	—	江別市はいうまでもなく、札幌に隣接するベッドタウンです。市の政策に期待するところは、三好昇市長が北海道の幹部職員を経てきた経緯も絡みませんが、やはり道との政策や行政における意思疎通をスムーズにおこなうことが期待されます。とりわけ現在はコロナ禍で石狩圏は道内においても注目が集まりやすい時期です。札幌市と同一視すべき部分と、分けて考える部分とをしっかりと区別したうえで、意思決定がなされることを期待するばかりです。札幌圏における江別市の立ち位置をしっかりと確立することが大事だと考えます。	第7次江別市総合計画策定方針(案)では、市民とともに希望を持って創り上げていくことを基本としながら、国や北海道などと必要に応じて情報交換を行うこととしています。 また、今後も長期間にわたって、新型コロナウイルス感染症への対応が必要となることが想定されるほか、さまざまな課題への対応が必要となることから、江別市の特性を最大限に生かした、より効率的で効果的な行財政運営を行う計画策定を目指してまいります。	C
2	1ページ	計画策定の趣旨	計画策定の趣旨の中の「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は市民にあまり知られておらず、市民から委員を公募せず、学識経験者や金融機関支店長、団体代表等で構成された提案でしかなく、パブリックコメントでの指摘が必要としながら市民参加を実行していない。このような「戦略」を特別視し、他の計画等と差別化して計画策定の趣旨に加えるべきか非常に疑問であり、趣旨における引用を考え直す必要がある。	計画策定の趣旨では、第7次江別市総合計画の策定における狙いを記載しております。10年先の江別市を考えるに当たっては、人口減少は避けられない課題であることから、その対策を推進している江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略との一体的な推進が必要であると考えております。	C
3	1ページ	策定に当たっての基本的な考え方	策定にあたっての基本的な考え方「みんなにとってわかりやすい計画」は必要だが、どの程度の市民がわかるかの目標を明らかにすることが望ましい。難しい行政用語は避け、中学生程度から理解できることが必要である。	第7次江別市総合計画では、ご意見の趣旨等を踏まえて、表現をはじめ、文言の使い方などに留意しながら、策定に当たっての基本的な考え方の一つである、みんなにとって分かりやすい計画となるよう努めてまいります。	B
4	1ページ	策定に当たっての基本的な考え方	「市民とともに希望をもってつくり上げていく計画」の理念はそのとおりだが、自治基本条例が市民にどこまで理解されているか検討委員会の経過等からみても疑問であり、理解度は低いと言わざるを得ない。まず自治基本条例の市民理解を深めることから考えるべきである。	第7次江別市総合計画の策定に当たっては、多様な市民参加の手法をとって、市民とともに創り上げていくこととしており、江別市自治基本条例の理念にのっとり、策定作業を進めてまいります。 なお、江別市自治基本条例の市民の皆様への理解に対するご意見につきましては、担当部署に伝えるとともに、当課においても、よりよい手法を検討してまいります。	B
5	1ページ	策定に当たっての基本的な考え方	市民の多様な意見を聴きながらすすめていくまちづくりに賛成します。計画策定時だけでなく、今後、進捗状況や見直しなどを行う際においても策定時同様、継続して市民の意見が聞き入れられることを望みます。	策定方針(案)では、総合計画を市民の皆様とともに希望を持って創り上げていくため、意見公募(パブリックコメント)のほか、えべつ未来づくりミーティングなどの市民参加の取組を通して多様なご意見をいただき、計画に反映させていくこととしております。 なお、計画見直しなどの際にも同様に市民の皆様のご意見をお聴きしながら進めていくことを予定しております。	C

No.	方針(案)のページ	項目	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
6	2ページ	策定に当たっての基本的な考え方	「江別市の特性を生かし、持続可能なまちづくり」を実現する計画について例示されているが、このような偏った課題の提起に留まることなく、都市整備、産業振興、教育や子育てなどでの特性を明確にする必要がある。また、効率的、効果的な財政運営は当然であるが、江別市の行財政運営の厳しさも市民にきちんと示すべきである。	江別市の特性については、分析を行った上で、今後のえべつ未来づくりミーティングなどに活用するなどして、さまざまなご意見をいただき、持続可能なまちづくりについて検討してまいります。 また、第7次江別市総合計画では、江別市の財政状況についても、市民の皆様のご意見をいただきながら、市の基本情報として市民の皆様にお示しすることについて検討してまいります。	B
7	2ページ	策定に当たっての基本的な考え方	まちづくりと地方創生を一体的に進めることに異議はないが、人口が日本、北海道で減少する中で江別市だけがいつまでも増加を続けるということは難しい。10年の長期的に見れば人口減少に入ることを明確にする必要がある。6次計画のコンパクトシティの基本理念は継承すべき。	人口減少は、一部の大都市などを除き、全国的な課題となっており、北海道では、23年連続で人口が減少するなど、江別市においても他市町村と同様に、問題意識を持っていることから、江別市における令和2年の国勢調査の結果や、全国・全道の人口動態を踏まえて、今後の人口推計を行い、その対応について検討してまいります。	B
8	2ページ	策定に当たっての基本的な考え方	人口増は市として重要なことと認識しますが、明らかに今後は人口減を避けることができません。交流人口・関係人口の増加は理解しますが、公的機関による予測においても人口減は明らかです。2045年には、約85,000人とのことです。我々市民にも覚悟みたいなものが必要だと感じます。2045年は遠くはありません。近い将来、人口が減ることを市民が意識していかなければならないと思います。これまで通りのお決まりの上向き政策ではなく、人口が減っても安心して楽しく暮らすことができる江別のまちづくりを緩やかな方向性で楽しく考え、つくっていくことが大切です。人口が減っても住み続けられるようなことに重点をおくことが肝要と考えることから、人口を増えることにあまり期待をするようなものではない、表現の工夫を要望します。	10年先の江別市を考えるに当たっては、人口減少は避けることのできない課題であると考えており、令和2年国勢調査の結果などにより、現状把握や将来推計を的確に行った上で、市民の皆様のご意見をいただきながら、江別市が進むべき方向性のほか、総合計画における表現などについて検討してまいります。	B
9	2ページ	策定に当たっての基本的な考え方	SDGsの視点を新たに取り入れることはぜひ必要で、世界的な潮流であるとともに江別市においても7次総合計画の新たな視点・目標として推進すべきである。同時に新しい目標として市民の関心と理解を高める努力が必要と考える。	SDGs(持続可能な開発目標)の視点を取り入れるために、市民の皆様との関心と理解度を把握する必要があると考えることから、まずは、江別市まちづくり市民アンケート調査を実施して、市民の皆様との関心について把握するほか、えべつ未来づくりミーティングを通して、理解を深める取組を進めてまいります。	C
10	3ページ	総合計画の構成と期間	総合計画の構成と期間については、6次計画と同様「えべつまちづくり未来構想」と「えべつ未来戦略」の構成は理解できるが、2つの違いが市民にどれだけ理解されているか疑問である。市民アンケートや市民参加などで確かめた上で対処すべきである。	次期総合計画である第7次江別市総合計画は、現行の第6次総合計画と同様の体系で策定作業を行ってまいります。効率的・効果的な構成が重要であると認識する一方で、分かりやすさも非常に重要であると考えております。 総合計画の体系については、出前講座などによって丁寧な説明を行っていくほか、総合計画の策定過程における市民参加のさまざまな機会を通じてご意見をいただき、ご理解いただけるよう、進めてまいります。	B

No.	方針(案)のページ	項目	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
11	3ページ	総合計画の策定手法・体制	市民アンケート調査、総合計画策定という大きく特別な節目であり、アンケート対象をほかのアンケートと同様の5,000人から倍増させ、「1万人市民アンケート」をキャッチフレーズにし、内容も単なる数字や可否、認知度だけでなく、市民の個別意見をできるだけ併記してもらい分析するなど計画に市民の声が反映されるよう改善すべきである。	市民アンケート調査については、前回の第6次江別市総合計画との比較などを行う観点から、前回と同様の手法で行うことが適切であると考え、5,000人の市民を対象にして実施することとしており、市民の皆様が思い描く江別市の将来に対するご意見などを的確に把握できるよう、努めてまいります。	C
12	3ページ	総合計画の策定手法・体制	無作為抽出で行うのでしょうか。5,000人の対象者全員がアンケートに回答できるよう、視覚障がいの方に必要な手法、また、ルビをふることも重要と考えますので要望します。	市民アンケート調査は、無作為抽出で行うことを予定しており、多様な市民の皆様のご意見をいただきたいと考えておりますことから、障がいをお持ちの方などへの配慮について、関係部署の協力を得ながら進めてまいります。	C
13	3ページ	総合計画の策定手法・体制	江別未来ミーティングの参加対象のグループに新規性、発展性がない。人生100年時代を踏まえた高齢者や住み替え転入者など多様な市民が参加するグループをつくり、意見とアイデアを求めるべきである。また、市内の大学の在校生・卒業生、市内の高校生だけでなく市内から市外に通学している大学生・専門学校生・高校生の学生等に参加を求めるか別途意見等を聞くべきで、今後、定住と市内で期待できる存在であることから、ほとんど市内に就職や定住していない4大学だけに固守する対応を続けるべきでない。さらに、ミーティンググループ代表などによる世代や活動範囲を超えた横断的・垂直的なミーティンググループが必要と考える。	えべつ未来づくりミーティングは、可能な限り多くの方々から、多様なご意見をいただきたいと考えており、新型コロナウイルス感染症の影響も見極めながら、他のグループの追加も検討してまいります。	B
14	3ページ	総合計画の策定手法・体制	まちづくりにおいて子どもたちの意見は大切です。対象グループに小学生も加えるべきです。 福祉関係団体には、当事者の声が反映できるよう当事者参加をすすめてください。そのためには、参加しやすい必要な合理的配慮を行ってください。 不登校児童生徒や引きこもり、LGBTQ等の少数とされるかもしれない方々の参加を当事者や関係団体等と相談し、参加を検討してください。 LGBTQの方々へ配慮しつつ、全体の対象グループの男女比についてバランス良く設定してください。 自治会からの参加については男性が多く見受けられます。男女比・多様な年齢層を考慮した構成にしてください。	えべつ未来づくりミーティングは、少人数で構成するカテゴリー別のグループを複数設定して、多様なご意見をいただきたいと考えており、新型コロナウイルス感染症の影響も見極め、いただいたご意見を参考にしながら、できるだけ多くの方々からご意見をいただくよう、努めてまいります。	B
15	4ページ	総合計画の策定手法・体制	えべつ未来づくりプロジェクトへの市民意見をあげることができるスペースは本庁舎だけでなく「市民の声」のように身近な出張所や公民館などでも可能にすべきである。	えべつ未来づくりプロジェクトは、現在、効果的な手法を検討中であり、多くの方々から、まちづくりに関するご意見をいただけるよう、努めてまいります。	B

No.	方針(案)のページ	項目	寄せられたご意見	ご意見に対する市の考え方	取扱区分
16	4ページ	総合計画の策定手法・体制	<p>パブリックコメントは特別なことを除けば、きわめて低調であり、6次計画の見直しではわずか3件であったことを踏まえると、市が一方向的に評価し、区分しているに過ぎないままでのパブリックコメントのやり方に要因がある。単なる通過措置として、一応市民の意見を聞いたことにし、審議会等に形式的な報告をするようなものであってはならない。パブリックコメントに市民がたくさん参加するような対応を考え、市民の意見を謙虚に受け止め、きちんと反映させ、理解されることがより良い計画になるはずである。</p> <p>計画を諮問する行政審議会は、市民公募が男女各1のような構成であってはならない。市民の公募参加を増やし、市民公募の審議会委員を3分の1から半数にすることで多様な市民の意見やアイデアを計画に生かされる。これまでのような市内大学と機関団体代表者会議のような行政審議会であってはならない。コロナ対策から前回のような多様な市民の集まりが困難であれば、なお市民公募委員を増やす必要がある。</p>	<p>意見公募(パブリックコメント)でいただいたご意見については、第7次江別市総合計画を策定するに当たっての貴重なご意見として受け止めております。</p> <p>意見公募(パブリックコメント)の効果的な手法のほか、行政審議会の委員構成などについては、いただいたご意見を踏まえながら、検討してまいります。</p>	B
17	4ページ	総合計画の策定手法・体制	<p>この意見募集の趣旨、目的がなにで、今後、どのように使われるのか不明確であるが、寄せられた意見は公開し、今後の計画策定にどう反映されるのか市民に示すべきである。</p>	<p>今回の意見公募(パブリックコメント)は、第7次江別市総合計画策定方針(案)を策定にするに当たっての意見公募であり、いただいたご意見を策定方針(案)に反映させるほか、今後の策定作業の参考とすることを目的としております。</p> <p>結果については、ご意見をいただいた方に対して、直接、回答するほか、市のホームページで公開いたします。</p>	D